

DeepEye

Machine Vision

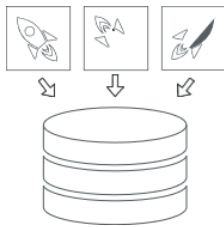
AIエンジニアでなくてもAI (Deep Learning)
開発にチャレンジできます

DeepEye (ディープアイ) Machine Visionとは

Deep Learning技術を用いた画像分類・物体検出を行えるオールインワンパッケージPC

**DeepEyeは届いたその日から
簡単にDeep Learningの一連の処理を実行できます**

①学習用データ作成



②学習モデル作成



③推論実行



- Deep Learningに関する詳細な知識は必要ありません
- Deep Learningの動作環境(Linux)の準備・知識は必要ありません
- ユーザーフレンドリーなGUIで学習用データの作成・学習モデルの作成・推論実行の一連の処理を簡単に実行できるため、自社内で何度でも検証が行えます

画像分類

工業製品の外観検査などで見られる、微細な傷/汚れ等を検知して正常・異常の判定



正常



異常(傷あり)

物体検知

監視カメラ等で利用される人間の検出や、製品の傷ついた部分の特定、異物検査



入力



出力

HWスペック

構成

OS	Ubuntu 18.04.1 LTS
CPU	Corei7
メモリ	32G (16G * 2)
SSD	500G SATA SSD
HDD	3TB
ODD	DVD Super Multi
電源	1000W
GPU	GeForce RTX 2080Ti



¥980,000 (税抜)
1年間メーカー保証付

※モニター、キーボード、マウスなどの付属品は全てオプション
※上記以外の構成も可能

■ DeepEyeデモ機の貸し出し (最長2週間) を行っています。



Computermind

株式会社 コンピュータマインド

対応ネットワーク

画像分類 GoogLeNet VGG16 Mobilenet v1 ResNet50
物体検知 SSD

※ネットワークに関しては、バージョンアップにて追加予定

画面イメージ

① メイン画面

実施したい機能を画像分類・物体検知の中から選択します



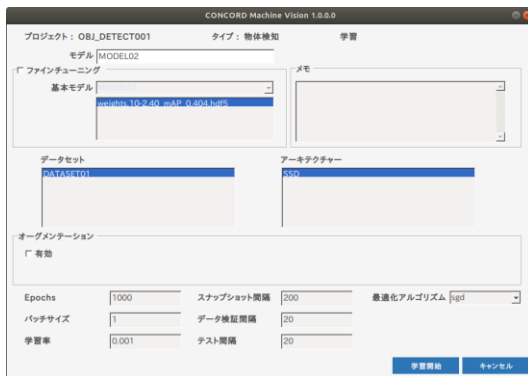
② 学習用データ作成 (物体検知)

選択したタスクに応じた学習用データを作成します
※画面は物体検知タスクの学習用データ作成画面



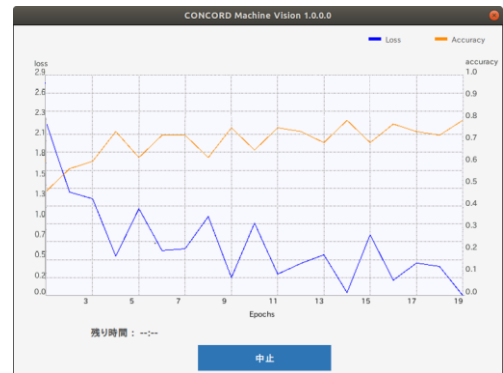
③ 学習条件設定

Deep Learningによる学習条件を設定します
※画面は物体検知タスク用の学習条件設定画面



④ 学習モデル作成・経過可視化

作成した学習用データと、設定した学習条件を使用して学習を行います。学習実行時には経過を可視化します



バージョンアップ予定機能

ネットワーク：YOLO

機能強化：DMP製AI FPGAモジュール ZIA™ C3 Kitへのデプロイ機能
Ver2済：画像分割、前処理強化、ヒートマップ (GradCAM) 表示

※別バージョンとしてWindows版をリリース予定

価格表

	価格	期間	備考
本体	980,000円/台	無期限	
ソフトウェア保守	98,000円/年	1年 ※1年目は無償	バージョンアップ保守料金 ※保守が一旦切れ再度保守を受ける際には DeepEye本体ソフトウェアを購入いただきます。
デプロイ後のモデルの ランタイム	98,000円/本	無期限	本体購入時にライセンス1本は同封
ハードウェア保守	無し	無し	1年目はメーカー保証 2年目以降は有償修理 センドバック

本体レンタルプラン 月額：レンタル期間により変動 ※オリックスレントックによる審査あり

2020年4月現在の価格
※いずれも税抜価格



株式会社 コンピュータマインド

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-6-2新宿国際ビルディング4F
TEL (03)6911-1855 FAX (03)6911-1866
<http://www.compmind.co.jp/> ai.sales@compmind.co.jp

20200420